

22 蓋沼森林公園 (会津高田町)



環 境

会津盆地の西端にあって森林公園になっている。ログハウスやバンガローの宿泊施設、炊事道具にキッチン、トイレも整備されて快適。公園内には蓋沼といくつかの沼、用水池があり周囲の森や林をくぐって探鳥路が配されている。ただし秋はクマ注意の看板が立つ。入り口の会津盆地の眺望は大きい。

季 節

春はカラ類の天国だが、キバシリやゴジュウカラ、クロツグミ、シロハラも見られる。夏にはアカショウビンという情報もあるが、これはバンガローに泊らないと無理。森と沼に恵まれて鳥類は豊富で個体数も多い。

秋には近ごろ数が少なくなったイスカにもお目にかかる。何より見事なのがコガモの大群で、降雪前は警戒心が強く探鳥路から近づくと一斉に飛び上がり、森をかすめて隣の沼へ移動する。沼の周辺にモリアオガエル、夏にはハッチョウトンボも飛び交う。

秋、会津はイモ煮の季節で、あちらこちらでイモ

煮鍋を囲む風景が見られる。イモ煮の主役は里イモで、会津の里イモはネットリとしておもちのようだ。

会津盆地に注ぐ溪流で一夏を過ごしたサシバの親子がその空を飛んで行く。高く高く方向は博士山で、そこからどこへ行くのだろう。ルートはまだわからない。麓から森林公園まではかなり距離があるが、山腹を切った道路が続くの

で樹木の梢が目の下になり、渡って来たばかりのキビタキ、オオルリの観察に最適。ホオジロも多い。

交 通

JR只見線会津高田駅下車、森林公園までは徒歩1時間30分、タクシー15分。車利用の場合は、公園内に駐車場がある。公園には管理人が常駐しているので一泊探鳥がおすすめ。食料持参。

